

おすすめ図書

『マンガでわかるLGBTQ+』
バレットーク 著 ケイカ マンガ
講談社



「知らなかった」LGBTQ+って何だろう？から、最新の情報、19の体験談を含む22のマンガを読みながら楽しく学べる作品です。男らしさ、女らしさから解放放たれてもいいと背中を押しLGBTQ+と法律の関係を例示。これからの社会と多様な性のあり方を考えるきっかけとなります。

今回ご紹介した図書は、男女平等参画推進センターミウズに配架してあります。どうぞご利用ください。

『人生は、もっと、自分で決めていい』
薄井 シンシア 著 日経BP



40代からつないだキャリア、58歳で経験した円満離婚、コロナ失業のどん底経験など後半人生の大きな転機の乗り越え方などに着目。再就職を考える専業主婦、子育てと仕事の両立に悩む共働き世代、余裕がない生活を送る30代～40代、後半人生のキャリアに悩む50代、人生の選択肢を前に迷い続ける読者へ。自分が大切にしたいものを軸に、自分の限界を受け止めて、目の前のことを積み重ねること。「どんな状況でも納得のいく人生をつかめる、決めた力」の秘訣を届けます。

『海のアトリエ』
堀川 理万子 著 偕成社



おばあちゃんの部屋には、女の子の絵がかざってある。「この子は、だれ？」って聞いてみたら、「この子は、あたしよ」って教えてくれた。びっくりするわたしに、おばあちゃんが話してくれたのは、海のアトリエに暮らす絵描きさんと過ごした夏の日のこと、おばあちゃんにとって、いつまでも色あせない、特別な思い出です。



女性のための相談

女性が抱える様々な悩みや不安に対し、解決の道を探るための1対1のカウンセリングです。専門の女性相談員が応じます。（秘密厳守）

無料

ひとりで悩まないで、一緒に考えましょう

毎週金曜日 午前10時～午後3時
（第3金曜日は午後3時～午後8時）
ご予約が必要です

☎043-460-2580

佐倉市男女平等参画推進センターミウズ

指定管理者制度導入施設 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ

〒285-0837 佐倉市王子台1-23
レイクピアウスイ3階



- 開館時間 9:00～20:00
- 休館日 毎月第4水曜日
年末年始（12/29～1/3）
- 施設案内
 - *学習室
 - *ミーティングスペース
 - *図書コーナー
（市内図書館オンライン）
 - *インターネット利用
 - *女性のための相談

Man(男性)

Equality(平等)

Woman(女性)

Square(広場)

<http://mews.shiteikanri-sakura.jp> E-mail: info@mews.shiteikanri-sakura.jp

TEL.043-460-2580 FAX.043-460-2582



ミウズ No.40 2023 春 令和5年3月発行

編集・発行 佐倉市男女平等参画推進センター ミウズ 指定管理者 株式会社明日葉

ミウズ

No.40 | 2023 春

一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指して



男女共同参画週間6月23日～29日

ミウズ男女平等参画講演会

※5月中旬より申し込み受付開始の予定です

今を大切にする片づけで身軽な暮らしを

日時：2023年6月24日（土）13:30～15:30
場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール

お知らせ



整理収納アドバイザー 井田典子さんを講師にお迎えします。各家庭の暮らしに寄り添った「片づけ訪問」は、400軒を超えます。NHK総合テレビ「あさイチ」など各メディアで“スーパー主婦”として活躍するほか、経験を活かした実践的な講演会を全国各地で行っています。

人生100年時代と言われる現代、今を大事にする暮らし方、今活（いまかつ）で自分らしい豊かな生活を送れるヒントを男女共同参画の視点を踏まえてお話しいたします。

主な著書

『「ガラクタのない家」幸せをつくる整理術』
『井田家の40年 暮らしとお金のありのまま』
『はなちゃんとぴかりんーピカピカだいさくせん！』絵本
（婦人之友社）

また、ミウズと市民団体とのコラボイベントとして、レイクピアウスイ3階ミウズにて登録団体のパネルや作品の展示を行います。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

講座報告

ミウズ☆ステップアップセミナー 女性のための再就職応援講座「パソコン講座」(ワード・エクセル基礎講座)

日時：2022年①10月13日(木) ②10月20日(木) ③10月27日(木)
13:30~15:30(3回連続講座)

場所：中央公民館 アトリエ・学習室

講師：渡辺 千春さん(パソコン講師) 佐々木 順子さん(講師補助)



再就職を希望する女性を対象にパソコン講座を実施しました。Word、Excelを使い、ビジネス文章やデータの編集を実習しました。文書がどのように作成されているかを知ることがトラブルに対応できる能力に繋がることを学びました。

—参加者の声—

- ・ちょうどよいテンポでした。早すぎず間延びせず、集中してできました。「一緒にやってみましょう」という言葉で落ち着いてでき、易しい言葉で深い内容だったと思いました。参加してよかったです。
- ・先生をはじめ、みなさん笑顔で安心できました。とても楽しかったです。これからも励んでいければと思います。
- ・レベルアップした講座も、ぜひ受講したいです！

講座報告

ミウズ男女平等参画セミナーオンライン講座(期間限定YouTube配信)

性別にとらわれず「自分らしく」生きるために

配信期間：2022年11月15日(火) 9:00~11月30日(水) 20:00

講師：沼倉 智美さん(ちばLGBTQフレンズ代表)

沼倉さんはセクシュアルマイノリティの当事者や家族が悩みを相談できる「ちばLGBTQフレンズ」の代表です。沼倉さん自身がトランスジェンダーの子どもを育てており、誰もが自分らしく生きられるための行動に繋がれたらとの思いから、会を立ち上げられました。

LGBTQについて学び、性の多様性について理解を深めました。

LGBTQとはLはレズビアン、性自認が女性の同性愛者、Gはゲイ、性自認が男性の同性愛者、Bはバイセクシュアル、同性も異性も好きになる、Tはトランスジェンダー、体は男性で性自認が女性、または体は女性で性自認は男性、Qはクエスチョニング、自分のセクシュアリティが決められない人です。他にもたくさんのセクシュアリティがあります。

セクシュアルマイノリティの人は13人に1人とされています。AB型、左利きが10人に1人いると言われてしますので、同じくらいいます。自分らしく生きられないつらさを抱えている人がたくさんいます。からかいの対象になったり自分を傷つけたり命を絶つ人もいます。

カミングアウトは必ずしなければならないわけではありませんが、カミングアウトされたら、勇気を出して話してくれたことに感謝し、他者に相談しても良いかを確認することが大事です。100人いたら100通りの生き方があります。

講座報告

国際女性デー☆フェスタ/ミウズ上映会

「六月燈の三姉妹」

日時：2023年3月8日(水) 13:00~15:30

場所：志津コミュニティセンター視聴覚室

解説：伊東 芳幸さん(日本アカデミー賞協会会員)

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。セクシュアルハラスメント問題や女性に対する暴力廃絶や差別撤廃への意識が高まっている中、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの促進を図る日として「国際女性デー」の意味を広めるため、上映会を行いました。

会場前には「女性に対する暴力をなくす運動」の掲示とパープルリボンキルトを飾りました。

「結婚とは、家族とは何なのか」をテーマに、シャッター商店街にある和菓子屋の家族を通し、土地の祭りを背景に一家の再生を描いた作品。



(c)「六月燈の三姉妹」製作委員会

登録団体紹介

佐倉平和のつどい

「佐倉平和のつどい」は、戦後50年を祈念し制定された「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を、市民と佐倉市が協力して執り行っている平和行事の市民団体です。毎年、広島原爆資料館所蔵の「市民が描いた原爆の絵」「子供たちの平和ポスター」と戦時資料の展示、戦時記録映像などから、戦争体験者が残した「もう戦争はするな」という意志を戦後世代へ語り継ぐ活動をしています。会場には、実行委員会が製作した、広島と長崎に投下された原子爆弾の実物大模型も展示しています。また、毎年佐倉市内の中学校2校で、「原爆の絵展」の巡回展示も行っています。会の活動は会費で賄われています。会費1000円で会員を募集しています。



長崎に投下された原子爆弾

佐倉平和のつどい 連絡先
佐倉市江原台2-31-4
会長 岩崎 茂
043-485-3642

コスモス佐倉短歌会

コスモスという結社の勉強会です。今Z世代で手軽に表現できる短歌が流行っているそうです。私達はシニアの主婦ばかりで恋の歌は縁遠いですが、素材は昔ながらの花鳥風月、挽歌だけでなく社会の出来事、旅行、仕事、趣味など様々です。月一度例会があり、会員の新作14首を歌評しつつ鑑賞します。新しい言葉や知らなかった佐倉の史跡や花など毎回新鮮な驚きがあります。時には題詠や吟行にも取り組んでいます。



コスモス佐倉短歌会 連絡先
植田 由江 043-489-5431

ワンポイント講座

コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題と未来

新型コロナウイルス感染症の拡大は、男女共同参画の遅れが露呈することとなった。2020年4月7日に1回目の緊急事態宣言が発出され、非正規雇用労働者をを中心に雇用情勢が急速に悪化した。同時に見過ごされ、表面化してこなかったDV、ひとり親世帯、女性の貧困等がコロナ下で可視化され、男女共同参画の進展状況に疑問の声が上がるようになった。

このような問題意識の高まりは、今後の男女共同参加を強力に推進し、誰一人取り残さない多様性と包摂性のある社会を実現する機会と捉えるべきである。

就業者数の推移



就業者数の推移を見ると、男女ともに、緊急事態宣言が発出された令和2年4月に前の月と比べて大幅に減少。令和2年度は女性70万人の減少。男性は39万人の減少と、女性の減少幅の方が大きい。

DV(配偶者暴力)相談件数の推移



全国の配偶者暴力相談支援センターと「DV相談プラス」に寄せられたDV(配偶者暴力)相談件数を含めると、令和2年度の相談件数は19万0,030件で、前年度比で約1.6倍に増加。

参考資料：男女共同参画局ホームページ